

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

「実りにふれる展～生きものや植物たちと秋を探そう～」10/27(金)から開催

①10/31(火)はホワイトタイガーに巨大パンプキンをプレゼント

②万博記念公園連携企画【公園ガイドとキュレーターと一緒に巡る「どんぐりツアー」】も特別開催

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」は、10月27日(金)から11月19日(日)までの期間、実りの最盛期を迎えるどんぐりと落ち葉や枝で館内を彩る特別展示「実りにふれる展～生きものや植物たちと秋を探そう～」を開催します。期間中は、生きものの行動のバリエーションを増やすパンプキンや植物を使ったエンリッチメントなど、秋を体験できるイベントを展開します。



どんぐり3兄弟(コナラ、スタジイ、クヌギ)が随所に登場

ニフレルは四季折々の自然植物や、緑豊かな景色を楽しむことができる万博記念公園に隣接しています。「植物の個性にふれることで新たな気づき生まれ、私たち人の心がより豊かになるように」という思いから、今回は秋の「植物」に着目しました。展示する植物の一部は万博記念公園のご協力でご提供頂きます。展示は「日常に公園のここちよさを」をコンセプトとし、公園のここちよさを感じさせるような、唯一無二の空間デザインを施す空間デザインブランド「parkERs(パークーズ)」が担当。訪れる人がどんぐりの大きさになって撮影できるアートウォールや、秋色の植物の中に隠れている“どんぐり3兄弟”やその仲間のいきもの達を探すスポットなど、館内5カ所を落ち葉やどんぐり、秋の植物で彩るとともに、ホワイトタイガーや、「うごきにふれる」の生きものたちの行動のバリエーションを引き出します。

イベント①【パンプキンエンリッチメント】

ハロウィーン当日の10月31日は、ホワイトタイガー「アクア」が暮らすエリアに、巨大パンプキンを設置。飛びついたり、引っかくといった「アクア」の行動の多様性を引き出します。

《日時》10月31日(火) 10時15分～(約30分間)

《場所》「みずべにふれる」ゾーン

※状況によって内容を変更する場合があります。



本件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 西前、渋谷

TEL: 06-6876-2204 FAX: 06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

<参加者募集>

イベント②万博記念公園連携特別企画

【公園ガイドとニフレルキュレーターと一緒に巡る「万博記念公園どんぐりツアー」】

ニフレルで「実りにふれる展」の見学&どんぐりや落ち葉をつかった“生きもののお面づくり”と、万博記念公園に足をのぼしてどんぐりを見つける、「どんぐりガイドツアー」がセットになった特別企画です。親子でご参加いただけます。尚、万博記念公園と連携したイベントは今回が初めてです。

【開催日時】 ①11月11日(土) ②11月12日(日)
いずれも9:00~12:00 (予定) 雨天決行

【対象・人数】 親子 2 名(お子様は5歳以上推奨~中学生)

【定員】 各回 20 名程度(事前募集、先着順)

【応募方法】 10月27日(金)12時より、
ニフレルホームページからメールでご応募いただけます。

【参加費】 5,000 円 (親子2名のニフレル入館料、万博記念公園入園料を含む)

※お子様(3歳~中学生)の追加参加は 2,000 円/人、大人(高校生以上)の追加参加は 3,000 円/人



【写真提供:万博記念公園マネジメント・パートナーズ】

イベント③【苗木にふれるワークショップ】

どんぐりの苗を選んで植えるワークショップ

【開催日時】 ①11月18日(土) ②11月19日(日)
10:30、11:00、11:30、12:00、12:30(全5回)

【場 所】 ニフレル 2 階 ニフレルメイクス

【定員】 各回 6 名(事前募集、先着順)

【応募方法】 10月27日(金)12時より、
ニフレルホームページからメールでご応募いただけます。

【参加費】 1,000 円



イベント④【花すくいワークショップ】

水面に浮かぶ花をすくって楽しむワークショップ

【開催日時】 ①11月18日(土) ②11月19日(日)
15:00、15:30、16:00、16:30(全4回)

【場 所】 ニフレル 2 階 みずべにふれる(イリエワニ水槽前)

【定員】 各回 15 名(先着順)

【応募方法】 当日参加 ※14時30分より開催場所で整理券を配布します。

【参加費】 1,000 円



※価格は全て税込です

※上記募集イベントのお問合せは、ニフレルインフォメーション 0570-022060(ナビダイヤル)まで

<万博記念公園について>

2025年の万国博覧会を控え50年前の日本の高度経済成長期の象徴であるEXPO'70大阪日本万国博覧会終了後、ほとんどのパビリオンを撤収し、人工地盤の上に様々な樹木や草花を植え、自然の森を再生し現在に至る、都市型大型公園。太陽の塔、EXPO'70パビリオンを中心とするレガシーを伝える建造物や、様々な樹木や草花に囲まれた万博記念公園は、2025年大阪関西万博に向けて当時のレガシーを知り、SDGsの取組や、フィールドワーク等様々な体験コンテンツを提供している。

<parkERsについて>

パークーズ(2013年7月設立)は、「青山フラワーマーケット」を運営する(株)パーク・コーポレーションの空間デザインブランド。「日常に公園のここちよさを」をコンセプトに、空間デザイナーとプランツコーディネーター(植栽デザインの専門家)が融合し、公園のここちよさを感じさせるような唯一無二のデザイン提案を行っている。



ホームページ <https://www.park-ers.com/>

《生きているミュージアム「NIFREL」施設概要》

【名称】 NIFREL(ニフレル)(館長:小畑 洋)

【運営会社】 株式会社海遊館(大阪市港区、社長:村井 弘幸)

【所在地】 吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内

【営業時間】 平日 10:00~18:00

土・日・祝 9:30~19:00

※いずれも最終入館は閉館の1時間前

※状況により変更する場合があります。

【休館日】 年中無休。 ※年に1回設備点検のための臨時休館あり

【施設内容】 展示ゾーン(いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、ワンダーモーメンツ、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる 合計8ゾーン)

ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)

ミュージアムショップ(NIFREL×NIFREL)

【交通】 大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分

【駐車場】 約4,100台(EXPOCITY 全体用駐車場)

